

DVDプレーヤー

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。

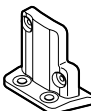
警告 本機は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

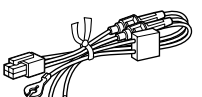
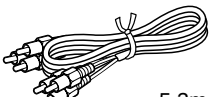
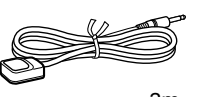
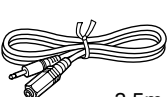
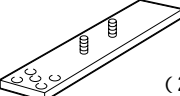
MV-101

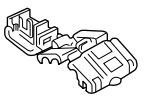
© 2003 Sony Corporation Printed in Korea

取り付け部品の確認（付属品）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| ① ブラケット

(2) | ② M3×6
(ブラケット用)

(4) | ③ K5×15

(4) | ④ 外部リモコンセンサー
取付用クッション
 |
| ⑤ 電源コード
 | ⑥ RCAピンコード

5.3m | ⑦ 外部リモコンセンサー

3m | ⑧ 外部リモコンセンサー
延長コード

2.5m |
| ⑨ 台座

(2) | ⑩ ナット

(4) | ⑪ 圧着式コネクタ

(2) | |

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内（FAX付電話でご利用になれます）

カーフィッティングFAXサービス 車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料

- ①インデックスの入手 / 03-3552-7209 → 車種メーカー別のBOX番号を受信
②資料請求 / 03-3552-7488 → アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

- ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。
- FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8：00～午後11：00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。（第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。）

24時間
お手元のFAXで
資料が取り出せます

商品の修理、お取扱方法、お買物相談などの問い合わせ

- <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

お客様ご相談センター

- ナビダイヤル …………… 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
- 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
- FAX …………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



警告

安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実付けには専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



指示



24V車に使用しない

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止



エアバッグシステムの動作の妨げになる場所に取り付けない

動作の妨げになる場所に取り付けると、けがの原因となります。



禁止

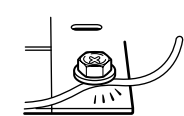
運転操作の妨げや車体の可動部の妨げになる場所に取り付けない

事故や感電、火災の原因となります。次のことをお守りください。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止



雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



禁止

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となります。



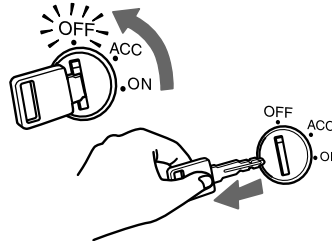
指示

取り付け、接続作業をするときには、イグニッションスイッチをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションスイッチをONにしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの原因となります。



指示

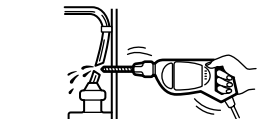


パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。



禁止



車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、次の部品を使うと、制動不能による事故や火災の原因となります。

- ・ステアリング系統
- ・ブレーキ系統
- ・タンク類など



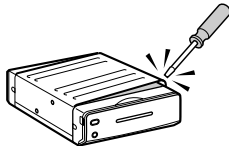
禁止

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、ヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



指示

本機の通風口や放熱板をふさがない

通風口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。



禁止



注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

不安定な場所に取り付けけない

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となります。



禁止

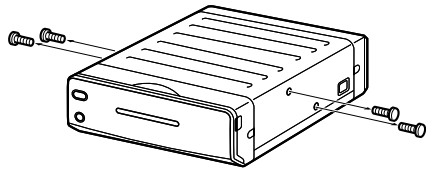


1 接続する前に

- この「取り付けと接続」に記載されている取り付け、接続先の機器は、付属品を除きすべて別売品です。接続の際は、必ず接続先の機器に付属の説明書も合わせてご覧ください。別売品の仕様については、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店にご相談ください。
- 電源コードとRCAピンコードなどの各コードは、できるだけ離して配置してください。ノイズの原因となります。
- コード類を外すときは、コネクター部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが抜けてしまうことがあります。

輸送用ネジを取り外す

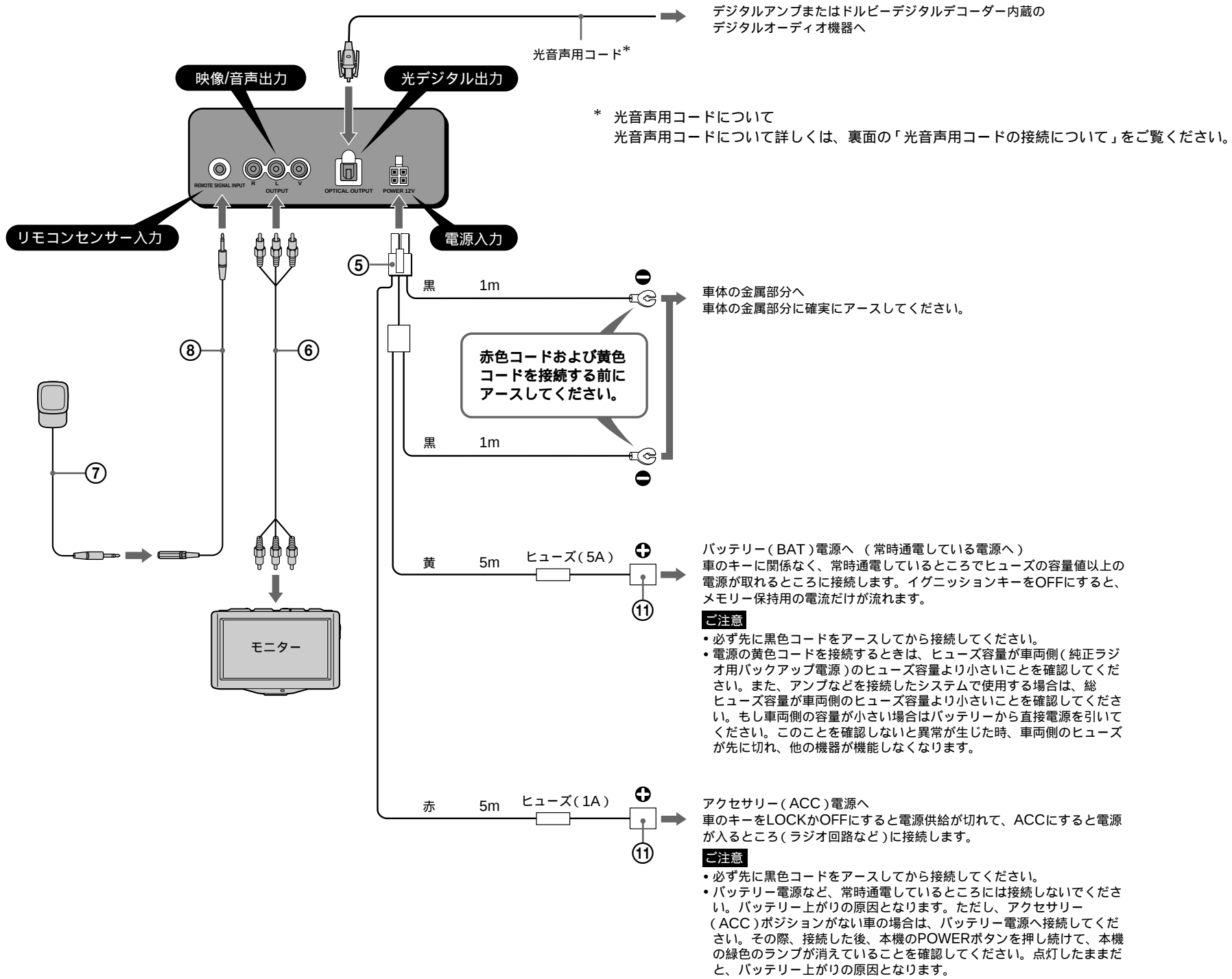
本機の両側には輸送用ネジが4本（右側2本、左側2本）付いています。取り付ける前に、必ず輸送用ネジを外してください。



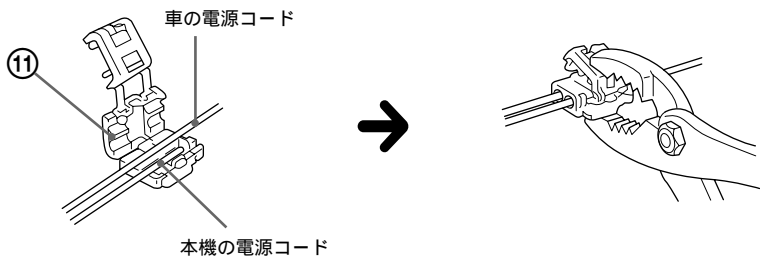
ご注意

外した輸送用ネジは、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。本機を取り外して取り付け位置を移動したり、再び輸送するときに使います。

2 接続する



圧着式コネクター⑪の使いかた

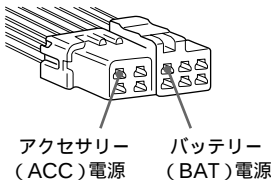


車の電源コードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。

下の図を参考にして車の電源コードに接続してください。

下の図は代表例です。これ以外のコネクターの場合は、お買い上げ店にご相談ください。

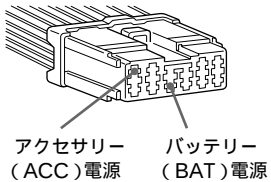
日産車用の10ピンコネクターの例（'93.8以前）



アクセサリ(ACC)電源

バッテリー(BAT)電源

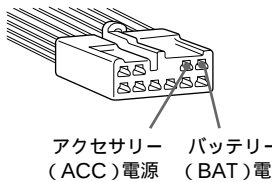
日産車用の10ピンコネクターの例（'93.8以降）



アクセサリ(ACC)電源

バッテリー(BAT)電源

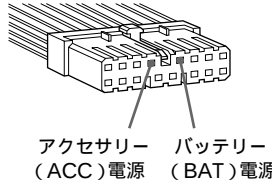
トヨタ車用の10ピンコネクターの例



アクセサリ(ACC)電源

バッテリー(BAT)電源

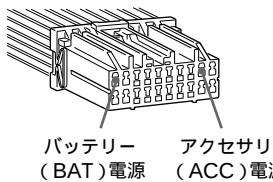
ホンダ車用の16ピンコネクターの例



アクセサリ(ACC)電源

バッテリー(BAT)電源

ホンダ車用の20ピンコネクターの例



バッテリー(BAT)電源

アクセサリ(ACC)電源

3 取り付ける前に

取り付け場所

次のような場所に取り付けないでください。

リモコンセンサー

- 運転の妨げになるところ
- 同乗者の安全を損なうところ
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになるところ

本機、モニター

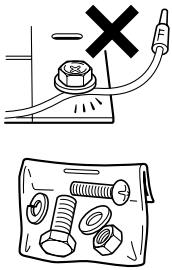
- 温度が55℃以上になるところ
- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
- 雨が吹き込むところなど、水がかかるところや湿気の多いところ
- ほこりの多いところ
- しっかりした取り付けのできない振動の多いところ
- 配線コードやパイプが下を通っているところ
- スペアタイヤ、その他の備品などを傷つけるおそれのあるところ

ご注意

- ウォークスルー部に穴をあけるときは、必ず裏側に何もいないことを確認してください。
- 必ず、付属のネジ類をお使いください。他のネジを使用すると故障の原因となることがあります。

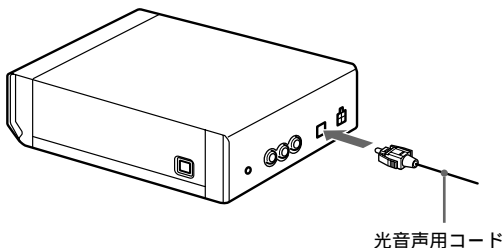
ビス・ナット類のご注意

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- 外したビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- 外すビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



光音声用コードの接続について

デジタルアンプやドルビーデジタルデコーダー内蔵のデジタルオーディオ機器と光デジタル接続するときは、本機の背面にある光デジタル出力専用のジャックに差し込みます。



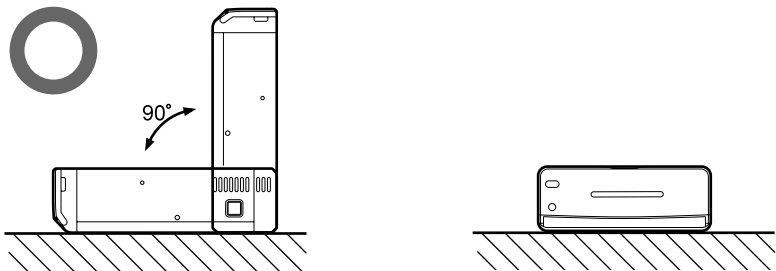
ご注意

- 光音声用コードは半径3cm以下に折り曲げないでください。音声途切れたり、音がとんだりする原因になります。
- 光音声用コードは、必ずソニーのオプションアクセサリ品をお使いください。
- 光音声用コードを接続するときは、コネクタ部を確実に差し込んでください。
- 光音声用コードの光カブラ部を傷つけたり、汚したりしないでください。
- 車種によっては車両側の金具に当たり、取り付けられない場合があります。

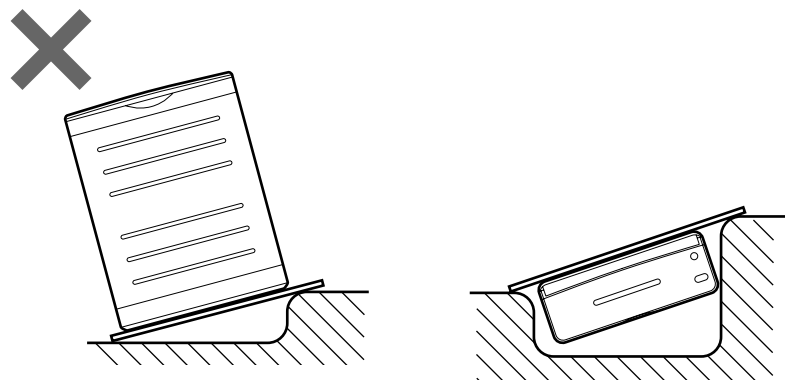
4 取り付ける

取り付け角度について

本機の実取り付け角度は上向きに0～90度です。左右は水平にしてください。



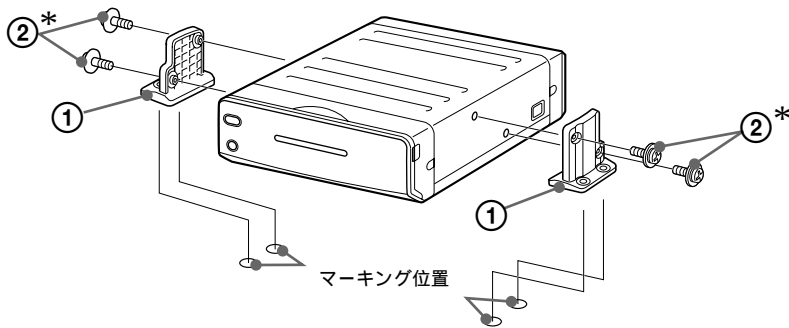
左右に傾けたり、天地を逆にして取り付けないでください。



横に置いて取り付ける場合 (床に穴をあけて固定する場合)

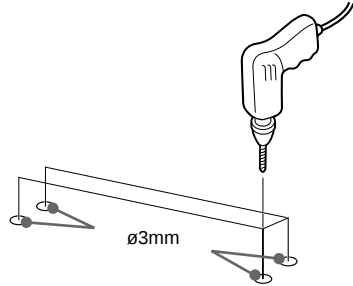
1

穴位置のマーキングをする



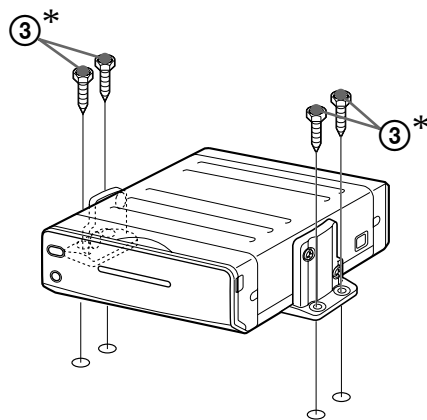
2

ドリルでφ3mmの穴をあける



3

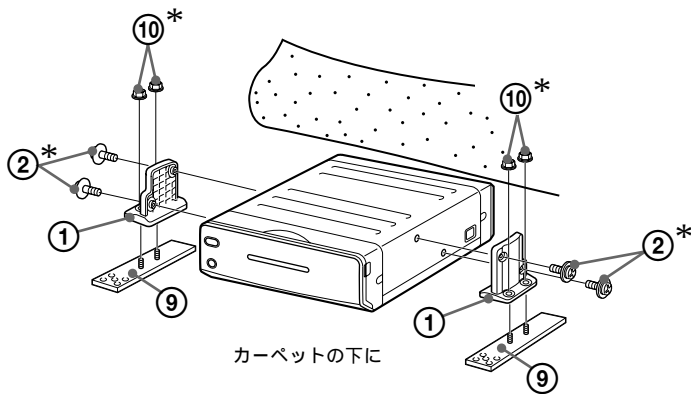
付属のネジ③で固定する



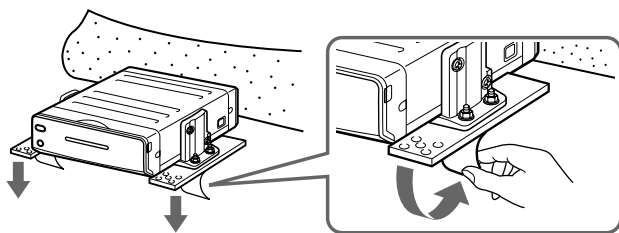
* 付属のネジ②、ネジ③で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

横に置いて取り付ける場合 (カーペットの下などに)

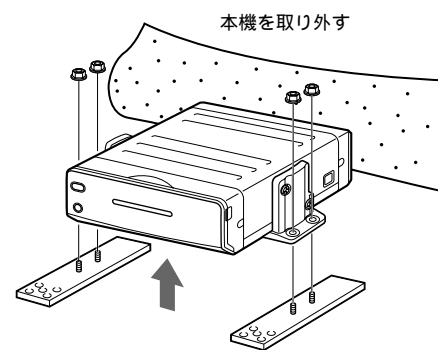
1



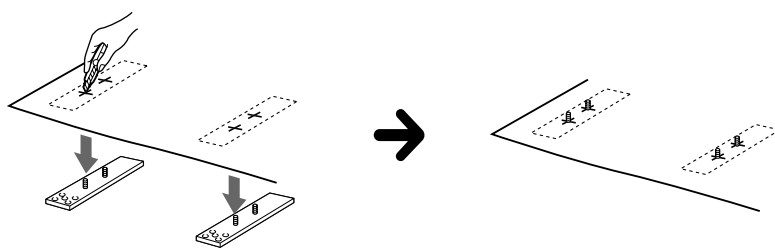
2

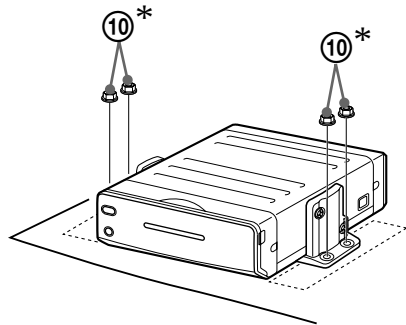


3



4



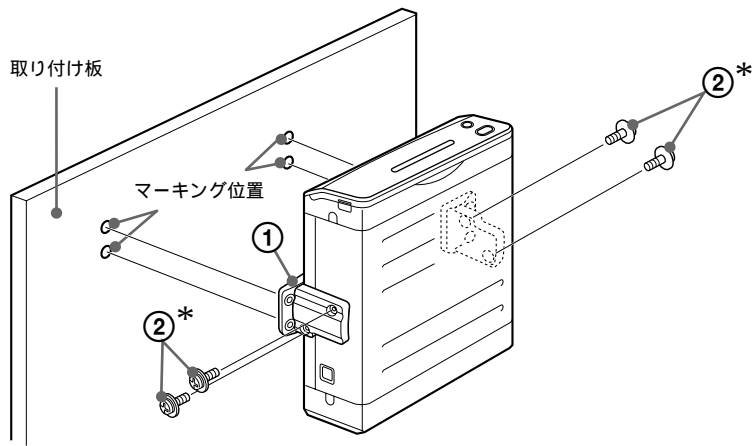


* 付属のネジ②、ネジ⑩で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

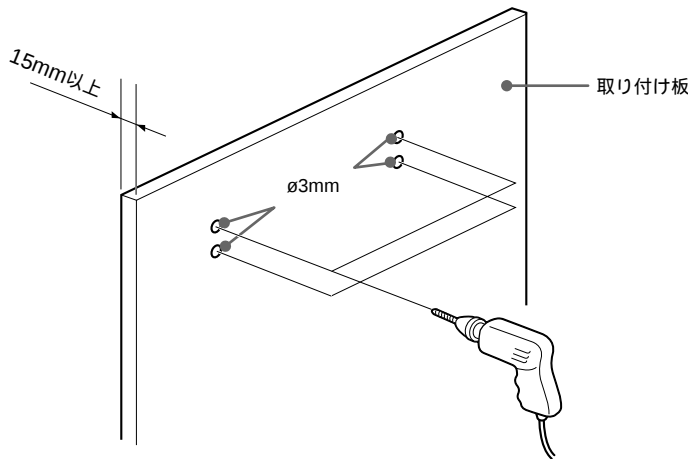
縦に置いて取り付ける場合

ご注意
固定する付属のネジ③の長さが15mmのため、厚さ15mm以上の取り付け板を使用してください。

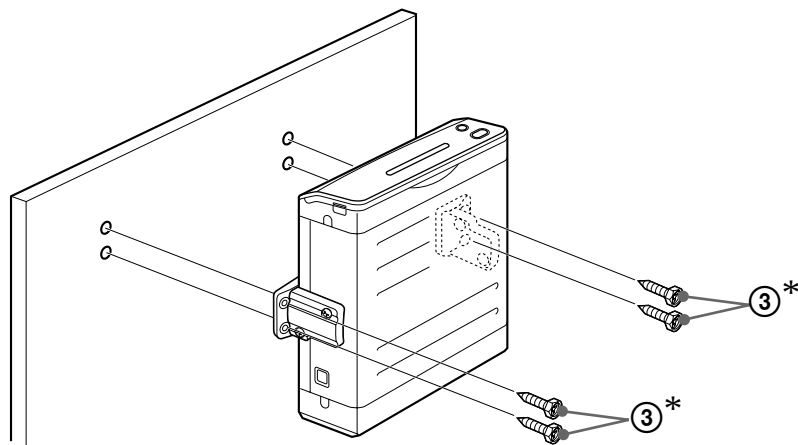
穴位置のマーキングをする



ドリルでφ3mmの穴をあける



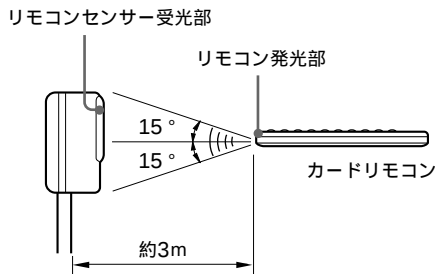
付属のネジ③で固定する



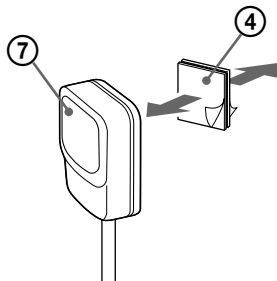
* 付属のネジ②、ネジ③で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因となります。

外部リモコンセンサー⑦を取り付ける

外部リモコンセンサー⑦を取り付ける前に、カードリモコンをリモコンセンサー受光部に向けてカードリモコンの使える範囲を確認してください。カードリモコンの使える範囲は、水平(左右) 垂直(上下)方向で15度ずつ、直線距離で約3mまでです。



取り付け面をよく拭き、取付用クッション④を貼ります。運転の妨げにならない位置に取り付けてください。



5 取り付けと接続が終わったら

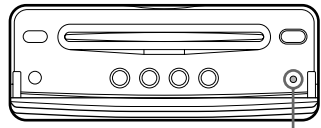
取り付けや接続に誤りがないか、各コードは確実に接続されているかを、もう一度確認する。

ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確認する。

フロントパネルを開け、リセットボタンをつまようじの先などで押す。

ご注意

- 針のようなもので強く押すと故障の原因となります。
- リセットボタンを押してから10秒間は、ディスクを入れないでください。リセットされないことがあります。その場合は、もう一度リセットボタンを押してください。



リセットボタン

本機が正しく動作するか確認する。

ご注意

すでにディスクが入っている場合は、挿入し直してから操作してください。リセット後そのまま操作すると、正しく動作しないことがあります。

接続関係のご注意

ヒューズについて

- 電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。
- 本機の黄色コード(バッテリー電源入力コード)を接続する前に、本機のヒューズ容量が車両側のヒューズ容量(ラジオまたはオーディオ電源)より小さい値であることを確認してください。判断が難しい場合は、お買い上げ店にご相談ください。

電源配線について

車種によっては、車両側の配線が細い(電流容量不足)ため、エンジンアイドリング時にライトやエアコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、電源コードRC-39を使って電源配線をするをお勧めします。

ACC(アクセサリ)ポジションの無い車に本機を取り付けた場合の操作上のご注意

お車を離れる際は、必ず本機のPOWERボタンを押し続けて、本機の緑色のランプが消えていることを確認してください。POWERボタンを短く押しただけでは電源が完全に切れず、バッテリー上がりの原因となります。

故障かな？

接続関係に誤りがあると、以下の不具合が出ることがあります。表面の「**2** 接続する」に従って、正しく接続されているかもう一度ご確認ください。

症状	原因・処置
電源が入らない。	- 電源コードが正しく接続されていない。 - アース用コード(黒色)、アクセサリ電源用コード(赤色)、バッテリー電源用コード(黄色)が正しく接続されていない。 - ヒューズが切れている。 → お買い上げ店にご相談ください。 - イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 - 車のバッテリーが正しく接続されていない。
映像が出ない。 音が出ない。	- 他の機器との接続を確認してください。 - 機器の入力設定を確認してください。
雑音しか出ない。	- アース用コード(黒色)が正しく接続されていない。 - 他の機器との接続を確認してください。